

English Business-Plan Contest TOKYO 2019

- ① 出場校 東京都立のビジネス系の学校 11チームが参加
- ② テーマ 「東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた、おもてなしビジネス」
- ③ 内容 与えられたテーマに沿って、自らビジネスプランを考え、英語でプレゼンテーションを行う



「インバウンド忘れ物が1,000万個届けられている。」という記事を読み、今回のプレゼンテーションの内容を考えました。忘れ物が“どこか”に届けられるのは、「おもてなし大国日本」の特徴です。この日本中の“どこか”に届けられたインバウンド忘れ物を、その“持ち主”に返したいと思いました。そこで“おもてなしシール”という商品を考えました。このシールは1枚1枚QRコードと各シールに割り振られたIDがついたシールです。

- ① 落としても見つけたい物（忘れたくない物）に“おもてなしシール”を貼る。
- ② シールについているQRコードを読み取り、アプリを起動し、そのシールに割り振られたIDを入力をし登録完了
- ③ 5カ国語から言語選択（日本語・英語・韓国語・中国語・タイ語）
- ④ “おもてなしシール”のついた物を拾った人（落とし物の届け先）でこのQRコードを読み取り、どこに届けられた（拾った）かを入力
- ⑤ 拾った人（届け先）が入力したメッセージが、先ほど選択した言語に自動で翻訳され、登録者へアプリ内へ届く
- ⑥ 持ち主（落とした人、忘れた人）が連絡があった場所に取りに行けば完了